

CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きや所管国の状況等を
短くまとめて紹介します



シドニー事務所

カウラ桜祭りと戦没者慰霊式典に参加

2023年9月23日、ニューサウスウェールズ州のカウラ市で「カウラ桜祭り」が開催されました。カウラ市はシドニーから西へ約300km、車で約4時間の場所に位置する街です。第2次世界大戦中に捕虜収容所が置かれ、1944年、カウラ・ブレイクアウトと呼ばれる日本人捕虜の集団脱走事件により、日本人捕虜234名とオーストラリア兵4名が犠牲となりました。戦後、カウラ市には、日本人戦争墓地や日本庭園が整備され、現在もさまざまな日豪間の交流事業が行われるなど、日豪の友好関係を象徴する街となっています。

カウラ市は、毎年、桜が満開となるこの時期に、カウラ日本庭園にて桜祭りを開催し、同時に戦没者慰霊式典を催しています。今年も桜祭りの会場には、日本の食や文化に関するブースや尺八、弓道、相撲などのパフォーマンスステージが並び、多くの来場者が訪れました。

クリアシドニー事務所は、ブースを出展し、日本旅行を計画している方やいつか行ってみたいという方に向けて、カウラ市と平和友好交流を行っている新潟県上越市をはじめ、日本各地の桜の名所をPRしました。桜祭りの翌日には、カウラ市の招待を受け、オーストラリア人墓地および日本人墓地での戦没者慰霊式典に参加し、平和を祈念しました。

今後もクリアシドニー事務所は、平和を願う両国の自治体間の友好交流が活発に行われ、日本とオーストラリアの人々のつながりが強まるよう、尽力してまいります。



クリアシドニー事務所のブースの様子



墓地での慰霊式典の様子



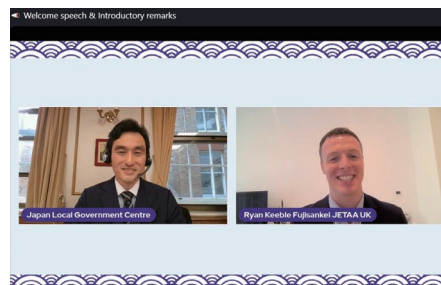
ロンドン事務所

在英日本国大使館および JETAA UK と共同で 「英国 JET プログラム終了者向けキャリアフェア」を開催 JET 経験者のキャリア形成を支援

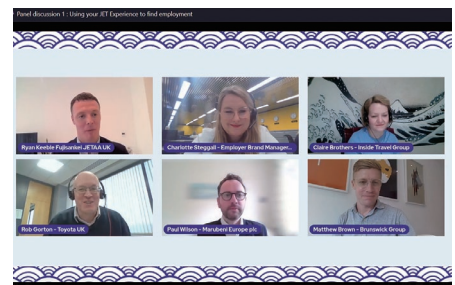
2023年9月27日、在英日本国大使館および JETAA UK（元 JET 参加者の会）と共同で、「英国 JET プログラム終了者向けキャリアフェア」を開催しました。オンラインでの開催としては4回目となる今回は、JETAA UK 各支部のメンバーや、英国内に事業所を持つ企業・団体などの担当者の協力のもと、JET 経験者に対し英国での就職・キャリア形成についてのアドバイスを提供しました。

当日は JETAA UK 会長のライアン・キーブル氏、在英日本国大使館岡崎泰之公使、クリアロンドン事務所松谷所長による開会挨拶を皮切りに、公的機関や国際関係機関への就職をテーマにしたパネルディスカッションや分科会、企業などの求人情報を提供する「オンラインブース」、キャリアアドバイザーが1対1で履歴書の添削を実施する「CVクリニック」、他の参加者とランダムで会話できる「スピードネットワーキング」などを展開しました。このうち、分科会では、今回初めて履歴書の書き方全般についての講義を実施したところ、多くの参加者が積極的に質問をする姿が見られ、今後のキャリア形成に対する意欲の高さがうかがえました。

終了後、参加者にアンケートを実施したところ、「JET プログラム終了後にこのようなサポートを受けられるとは思っていませんでしたので、就職活動に自信が持てるようになった」「JET プログラム終了後のさまざまなキャリアパスについて、貴重な見識を得ることができた」など、キャリアフェアの内容に満足している回答が多くみられました。



松谷所長による挨拶



パネルディスカッションの様子



北京事務所

「中国国際サービス貿易交易会（CIFTIS）」で日本の自治体をPRしました

2023年9月2日から6日にかけて、「中国国際サービス貿易交易会（CIFTIS）」が北京市で開催され、80を超える国と国際機関がブースを設置し、2,400社を超える企業が出展しました。

クレア北京事務所は、日本貿易振興機構（JETRO）が設置した日本ブースにおいて自治体の観光パンフレット配布やPR動画放映を行いました。前月に日本への団体旅行が再開したことから、日本旅行の情報を求める来場者が多く、3,000部を超えるパンフレットを配布することができました。

「ウインタースポーツを楽しみたいのでスキー場の情報が欲しい」「温泉と美味しい食事を楽しみたい」など、日本旅行を楽しみにする声が多く聞かれました。

クレア北京事務所では、今後もさまざまな機会をとらえて自治体の魅力発信支援を行っていきます。



中国国際サービス貿易交易会の様子



パンフレットを手にする来場者たち



パリ事務所

日本酒の試飲を通じた自治体PR（マルセイユ秋祭りに出展）

今年の「秋祭り 2023」（在マルセイユ日本国領事館・マルセイユ市共催）は9月30日から10月1日にかけてマルセイユ市ボレリー公園植物園で開催されました。

このイベントでは、茶道・華道などの日本古来の芸術が披露されるほか、柔道や空手の演武、盆踊り体験など、数々の日本の伝統文化が紹介され、毎年多くの来場者を集めます。

クレアパリ事務所では、昨年に引き続き特設ブースを出展し、日本酒の試飲を通じた自治体PRを行いました。来場者はワインとは異なる味・香りに最初は戸惑いながらも（辛口のものよりは、フルーティな甘口を好む方が多くいました）、主原料のお米の産地を地図で確認したり、日本酒に合うフランス料理は何か考えたりと、まだまだフランスでは見慣れない「saké」に興味津々の様子でした。

フランスには「テロワール」という言葉があります。これはフランス語の「terre（土地、土壌）」が語源の言葉で、主にワインを楽しむ際に、その味や香りに留まらず、産地のブドウ畑周辺の自然環境（土壌・地形・気候など）や製造手法なども含めてワインを味わう固有の概念です。来場者の多くが、日本酒の試飲の際もテロワールを楽しんでいたように感じました。日本酒を通じて自治体のPRをすることは、クレアパリ事務所の職員にとっても、日本全国にある日本酒の産地の自然環境や風土を学ぶ良い機会となっています。今後も、クレアパリ事務所では、あらゆる場面・手法を通じて、自治体のPRを積極的に行ってまいります。



日本酒の説明をするクレアパリ事務所職員



ニューヨーク事務所

岩手県盛岡市の海外活動支援を行いました

2023年8月26日、ニューヨーク州ブルックリンの複合施設インダストリーシティー内のジャパン・ビレッジで夏祭りが開催され、岩手県盛岡市が観光プロモーション活動の一環として参加しました。クレアニューヨーク事務所は、盛岡市のブースでのパンフレットの配布や集客の支援を行いました。

ジャパン・ビレッジは、日本食の飲食店のほか、日本の食材を扱うスーパー、アニメ関係の雑貨店、展示スペースや茶室などが集まる施設で、日本の文化とコミュニティーの形成を目的としています。夏祭りの開催中には、かき氷やラムネの屋台、浴衣のレンタルなど、伝統的な日本の夏を楽しむことができました。

特に、盛岡市の「さんさ踊り」のステージ披露と、踊りを習うことができる体験会が来場者の注目を集めました。さらに、盛岡市の名物「わんこそば」の大会も行われ、参加者の1人が1分間で30杯を完食する姿に、会場からは大きな歓声が上がりました。このイベントを通じて、多くの来場者が盛岡市の魅力を体感することができました。



わんこそば大会の様子



さんさ踊りを体験する来場者



シンガポール事務所

日本ーインドネシア地方行政セミナーが開催されました！

2023年9月20日、総務省とインドネシア内務省の共催で「日本ーインドネシア地方行政セミナー」が首都ジャカルタで開催され、クレアシンガポール事務所は総務省とインドネシア政府の関係機関などの連絡調整および当日の運営支援を担当しました。

セミナーでは「地域活性化と人材育成～地域の発展を実現するための具体的な取り組み～」をメインテーマとして、両国の政府や自治体の首長・局長級による基調講演および先進事例の報告、パネルディスカッションが実施されました。開会式では、ムハマド・ティト・カルナフィアン内務大臣から代表挨拶のほか、現在のインドネシアについて説明もあり、インドネシアは人口ボーナス期にあるため経済も発展しているが、この時期にこそ将来を見据えた取り組みを実施しなければならないと考えている、と述べられました。

日本側からは、総務省の山越伸子地域力創造審議官による基調講演「日本の地方自治制度について」が行われ、その後の事例発表では、広瀬栄養父市長による「朝倉山椒の取り組み」、自治大学の長岡丈道教授による「地域の活性化などを担う職員の人材育成について」の講演がありました。また、パネルディスカッションでは「日本では国の制度などを用いずに地方自治体独自で人材活用ができるのか」「人材育成について、インドネシアと日本間での人材交流を行いたい」など、さまざまな質問や意見が飛び交いました。セミナーは両国間での活発な意見交換の場となり、盛会のうちに幕を閉じました。



開会式での記念撮影



ソウル事務所

第14回日韓共同セミナーを開催しました！

クレアソウル事務所では、毎年、韓国地方行政研究院（KRILA）と共同で日韓の地方の課題などについて議論する日韓共同セミナーを開催しています。

韓国では2022年の合計特殊出生率が0.78を記録するなど危機的な状況で、少子高齢化や地方における人口減少などの日本と共通の課題を多く抱えており、「地方消滅」という言葉を目にすることも少なくありません。14回目の開催となった今年のセミナーは「地域資源を活用した地域活性化」をテーマとして開催しました。

韓国では、今年から地方財政への支援などを目的に日本のふるさと納税をモデルにした「郷土愛寄附制度」が開始されたことを受けて、日本側からは、ふるさと納税で高い実績を誇る池田宜永宮崎県都城市長に「結果が出る自治体経営」をテーマに基調講演を行っていただいたほか、宮崎大学の根岸裕孝教授に「道の駅と地方創生」をテーマに日本独自のシステムである道の駅の発展事例を発表いただきました。

韓国側からは、韓国特有の制度である「マウル（村）年金」をテーマにした発表などがなされ、総合討論の時間には、両国の取り組みに関する積極的な意見交換が行われました。セミナーの詳細は二次元コードをご覧ください。



セミナー詳細はこちら



セミナーに登壇いただいた両国の有識者



交流親善課

第24回日中韓3か国地方政府交流会議を山梨県で開催しました！

日中韓3か国地方政府交流会議は、歴史的、地理的にも密接な関係にある日本、中国、韓国の3か国地方政府間の国際交流・協力を一層促進することを目的に、3か国の国際交流機関（日本・クレア、中国・中国人民対外友好協会、韓国・大韓民国市道知事協議会）が主催し、輪番制にて1999年より毎年開催しているものです。

今年は2023年10月16日から19日にかけて山梨県北杜市にて新型コロナウイルス感染症の制限緩和を受け4年ぶりに対面式で開催されました（※18日、19日は視察（エクスカーション）を実施）。

本会議では「日中韓地方政府による、未来を見据えた地域づくり」をテーマとし、日中韓それぞれの自治体代表者が各地域の取り組み発表や意見交換を行い、自治体関係者およそ430名が参加しました。会議詳細は4月号でも掲載予定です。

来年度は韓国・光州広域市での開催を予定しております。ぜひ参加をご検討ください。

詳しくはクレアのホームページへ！

<https://www.clair.or.jp/j/exchange/chiiki/>



第24回日中韓3か国地方政府交流会議 顔合わせ会



開催地代表挨拶 長崎幸太郎山梨県知事

多文化共生課

2023年度地域国際化協会職員国内研修（事業担当者向け）を開催しました

クレア多文化共生課では、地域の多文化共生を担う地域国際化協会職員の専門性の向上などを目的に、毎年研修を実施しています。今回は「外国人相談支援における福祉との連携強化」をテーマに4年ぶりに対面で開催し、全国各地から32名の方に参加いただきました。

研修では、出入国在留管理庁外国人施策推進室より「外国人に対する総合的な支援をコーディネートする人材の育成・認証など」について、日本福祉大学の石河久美子名誉教授より「外国人相談支援における多文化共生と福祉の役割」についてお話しいただきました。また、多文化共生と福祉の連携に必要な取り組みなどについてディスカッションを行いました。

参加者からは、「連携の重要性を再認識した。日頃の業務に活かしたい」などの声が寄せられ、大変好評をいただきました。ご意見などを活かして、次年度もさまざまな事業を企画してまいります。引き続きご協力をお願いいたします。



グループディスカッションの様子

JET プログラム事業部

JET プログラム提供の日本語講座について

JET プログラム参加者の日本語能力向上のため、無料でオンライン日本語講座を提供しています。日本語能力は職場におけるコミュニケーションや日常生活などにおいて、非常に重要ですので、多くの JET プログラム参加者に積極的に本講座を活用し、日本語学習に取り組んでいただきたいです。

本講座には、JET プログラム参加者の日本語能力に応じた3つのコース（初級、中級、上級）があり、プレースメントテストを受けることで、自分に合ったコースで日本語を学んでいただけます。それぞれが日常生活などで役立つ日本語能力試験のN5、N4、N3のレベルに準じていますので、各コースを修了してから自身のレベルに合った試験に挑戦できます（クレアは、N3に合格した現役 JET プログラム参加者向けの受験料助成事業も行っています）。2023年度から、JET プログラムのホームページにコース紹介の動画も掲載しています。

JET プログラム参加者の皆様は、日本での仕事と生活をより充実させるため、ぜひ日本語講座を受講してみてください。



コース紹介動画

日本語講座のレベルについて

コース	初級	中級	上級
日本語能力試験相当レベル	N5	N4	N3
主な対象者	ひらがなとカタカナが読める方	ひらがな、カタカナ、基本的な漢字で書かれた簡単な単語や文章の読み書きができ、日常生活の中でも身近な場面によく使われている短い文章で会話ができる方	基本的な漢字で書かれた単語や文章の読み書きができ、日常的な会話ができる方

経済交流課

プロモーションアドバイザーを派遣しました！

クレアでは、自治体の海外プロモーションを支援するため、専門的知見、ノウハウ、経験をもつ専門家（プロモーションアドバイザー＝PA）を派遣する制度を実施しています。

ここでは、今年度の派遣実績として、大阪市都島区への派遣事例をご紹介します。都島区では、2025年大阪・関西万博に向け、さらなるにぎわいづくりを進める観点から、大阪市都島区（京橋エリア）の外国人向けプロモーションを検討しています。株式会社地球の歩き方 観光マーケティング事業部長 勝政直樹氏をPAとして派遣し、専門的な見地から事業実施に向けた助言をいただきました。

京橋商店街をPAとともに視察し、商店街の魅力やその発信方法に関してPAから助言をいただきました。また、区内のホテル関係者も交え、京橋駅周辺でのグルメマップの作成手法や内容についても活発に議論を行うなど、今後のインバウンド施策の立案に向けた有意義なPA派遣になりました。

海外販路開拓やインバウンド観光支援といった活動促進のため、ぜひ本事業をご活用ください！

事業の詳細、活用事例、プロモーションアドバイザー一覧については、ホームページをご覧ください。

<https://economy.clair.or.jp/activity/dispatch/>

【お問い合わせ】

経済交流課 Tel:03-5213-1726 Mail:keishin@clair.or.jp

市民国際プラザ

第1回国際協力推進セミナー～世界とつながる 地方自治体～行政×NGO/NPO等の協働による 国際協力の可能性～を開催しました！

2023年9月7日に「国際協力推進セミナー～世界とつながる地方自治体～行政×NGO/NPO等の協働による国際協力の可能性～」を開催し、全国の自治体、国際交流協会、NGO、NPO、企業など144名にご参加いただきました。

認定NPO法人テラ・ルネッサンス鬼丸昌也氏による話題提供「地域発！市民参加の国際協力の意義」の後、クレアの国際協力促進事業（モデル事業）活用事例を紹介いただきました。

新潟県、松山市×NPO法人えひめグローバルネットワーク、読谷村×NPO法人レキオウィングスの事例は、地域発、市民参加の国際協力が、途上国の支援そして、地域の国際化、活性化、共生社会づくりにつながるなど、大変示唆に富むものでした。後日報告書も掲載しますのでご覧ください。

<https://www.plaza-clair.jp/>



セミナーの様子